
転生ものだってよコノヤロオオオ！！！！

亜麻音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

転生ものだってよコノヤロオオオ!!!

【Nコード】

N9334Z

【作者名】

亜麻音

【あらすじ】

とある事件に巻き込まれ私は死んだ！
そして命日が

まさかの私の誕生日！？

虚しいよね！

でも私は死んで

よかったと思ってる！！

親に赤点のテスト見せずに済むし！
なんせ見兼ねた神が私に
誕生日プレゼントとして、私の大い好きな銀魂の世界に特別に転生
してくれるって言ったから！！！！

転生ものです！！！！

ただの厨二病患者の末期症状が発動して作った駄作！パツと思いついてパツと書いた駄作なので期待はしないように！！

設定（前書き）

登場人物等の紹介です!!!

設定

設定

主人公

・安西 茂玻

(あんざい しげは)

・年齢：17歳

・身長：162.8?

・性別：女

・髪型：肩より下

色は焦げ茶で

ストレートヘア

・特技：アーチェリー

剣道

(代々家が剣道で有名) ・好きな物

甘い物ならオール

ハンバーガー

ケーキ(特にチーズケーキ)

・嫌いな物

辛い物

マヨネーズ(まずいから)

納豆

・特徴

スタイル抜群!!

スリーサイズは…

ご想像にお任せします。
なるべく
胸は…でかく…（笑）

銀魂を愛して愛してやまないJK。口が悪い時は度々ですが普段は
しつかり者！

・アゲンⅡサイクレットⅡライマ

・性別：男

・通称：神

・茂坡を銀魂の世界に転生させた人？・好きな物

チョコレート

チョココロネ

チョコチョコ…

チョコ類なら何でも！

・嫌いな物

・トマト

・季節でいうなら春（花粉症になるから……
ていうか神も花粉症引くんだ…。）

年齢：4345歳

特技：かなりのゲーマー

特にP P、P 3

縄跳び

餓鬼っぱいが神としての仕事もちゃんとやっている！

くらいですかね？
後はご想像にお任せ

設定（後書き）

だいたい人物像は生まれましたか？

次は本文です

転生という名の「転生」(前書き)

皆さんどうもこんにちはorはじめまして!!!「薔薇獄少女」を書いています亜麻音です!

今回は新しい小説も新連載することにしました!

ダメダメ駄作ですが見てくれた方々ほんとに感謝しています!!!
それではどうぞ

転生という名の「転生」

「茂波あつ!!!!」

「…おい大丈夫か!!」

「すつすぐに救急車を…」

「死んじゃ駄目だっ!!」

「手当てだっ!!」

出血が酷すぎる!!

おいそのタオル…」

(皆ぎゃーぎゃー煩いんだよ。なんでそんなざわついているの…。

ていうか…身体痛ったあ…腹痛いし…なんか視界もぼやけてきたし

…。

ああ最悪…。

?

何だろう…。なんか今日記念日じゃなかった?

凄く大切な…??

てか…

眠くなってきた…。

ちよつと…

くらい…良いよね…?

道端…で寝…たって…)

「ん……………」

目が覚めた。今だ眠気眼の目を何度か瞬きをする。

そこは空でも

自分の部屋でも

ましてや教室の天井でもない。

「白…?」

辺り一面真っ白

上半身むくりと

起き上がらせ前後左右確認するが
やはり白。

「何処ここ…。」

「此処は狭間じゃ。」

突然何処からか声が
聞こえ振り向く。

さっきまで居なかった場所に

じじい…

「神じゃ！…！！…！！…！！」

すぐに訂正されたが
見るからに

じじい

「だから神じゃ！…！！…！！…！！」

「私の心読めるの？」

私は問う

「ああ…わしは神だからなお前達の心くらい簡単に分かるわい
…！」「らしい…」

「でさ…お爺ちゃん…此処狭間とか言っただけど…何私死んだの？」

「だからお爺ちゃん…じゃなくて神じゃ！！…覚えとらんか？」

「うん！嫌なくらい
めっちゃくちゃ
はつきり覚えてる。
確か私……」

遡ること10分前

私こと

安西茂坡は

ちようど部活帰りだった。

私

合わせて仲良し三人組と

恋バナとか

友達が一つ上の先輩と付き合ってるらしく昨日デートしたとかキス

あああああ

そんな話で

キヤーキヤーしてたけど、正直

私は恋愛など

これっぽっちも興味がない。

二次元一筋だしっ

裏ではそういう風に思ってるけど

まあ話は聞くだけ聞いてた。交差点が赤から青に

変わって歩き出そうと時、後方の方で奇声が走った。何事かと思っ

て後ろ振り向いた刹那、

ドスッ！

黒いハンチング帽を深く被ってマスクとグラスンいかにも不審者っぽい男が私のすぐ横を走っていった。

それはもうスローモーションのようで……。

私は何かお腹に違和感があったから

視線を向けた瞬間

うわっ

どんぴしゃじゃん！

私のお腹は紅く綺麗な円にみるみるうちに染まっていく。さすがに痛みがきつくてそのまま崩れ落ちるように倒れた。

友達是我的名前とか叫んでたけど

後助け呼んだり？

でも死ぬ間際ってドラマでも見たことあるけど

本当に意識朦朧とするんだね？まあそこからはご想像の通り死んだってわけ。

「みたいな感じ？」

「いやわしに問われても返す言葉がない。
ただ単にご愁傷様じゃ…。」

「んで私は死んだからその『狭間』とかいう空間に来て神と会った。」

「左様。」

……

……

……

……

「で？」

「……で？」

私の問いに思わず聞き返す神。

「いやいやだから私

『狭間』

来たから……？

何ここで天国or地獄行きたい場所選べとかそついつのじゃなくて？
もしかして

お爺ちゃんって逝き先案内人とか？」

一人で納得して頭の横らへんに豆電球が輝る。

「だからお爺ちゃんじゃなくて神!!!かあみ!!!」

お前さん良いのか!!!わしはお前さんを救ってやったというのに
「!」

「へっ?」

「お前さん今日が何の日か忘れたのか!」

「うーんとねえ……」

……

ポン……ポン……ポン

チーン！！

「建国記念の日……！！！！！！」

「違うわああああい……！！」怒鳴り付けられた。
その声に髪が靡く。

「じゃあ何よ。あんたの誕生日だとか……？」

ハア……。

（あつ！神も溜息つくんだ！！カメラ持ってきていけば良かった。

）

「10月22日……お前さんの誕生日だろっ」

「あっそうか！

私は真つ白の床にはいつくばり叩く！

「そんなああ！ケーキ！

私のチーズケーキ！！私の祝日！！私の！！私の！！」

「で何処が良いんじゃ？
転生場所は？」

「he...?」

あどけない声を出してしまったが
今は女がどうだこつだ関係ない。

「転生場所...?」

「いくら死んだ人間でも自分の命日が自分の誕生日とは可哀相であ
ろう。それもお前さんはまだ若い。
青春を謳歌する年頃には最適じゃ。」

「じゃあ…」

「これはわしからの誕生日プレゼントじゃ！だから…」

「じゃあ銀魂の世界が良い！！！！」

「うん…まずは人の話を最後まで聞こう。」

そう私が夢見ていた世界。

銀魂。

特に主人公の

坂田銀時

通称：銀さん

私の携帯には

八割方銀魂の画像で埋まっている。

銀魂シリーズのメル画も 数ある中だ。

そして

「そしてこの展開と言えばまさに“転生もの”とか
“クロスオーバー”とかそういうやつでしょ！！！！」

「こっついう展開分かる！！」

神の手違いなどで
死んでしまった人間を
別時限へと飛ばしその世界で自分として生きれる。

まさに

ヲタクとって

夢の中のまた夢の話

私の場合
理由が違^{わけ}うが

“これは転生もの”

「で…！出来るの？転生…！！」

私はウキウキワクワクしながらその返答を待った。
返答を待たずにも

言われなくても
返事は知ってる。

「可能じゃ。」

ほら来たああああ…！！！！

「じゃあさっそくだが
銀魂の世界に飛ばす

意識飛ぶ可能性あるが
気をつけるんじゃぞ！」

「アイアイサあー!!」

「それと最後に言うておく…。」

「。」

「えっ…今なんて？」

「神は二度は言わん!!
モタモタしてるうちに
ほらっ！」

視線を下に向けた。

私も視線を下に向けると…

床が孤状に切り取られていた。私の居る場所だけ…
「げっ！！これって…」

「楽しんでくんじゃぞ」
手を振られた瞬間

そのまま一気に落下。

「いやあああああ………。」
数秒も経たない状態で女の姿は跡形も無く消えた。
いや落ちた！！

神は小声で言った。

「HAPPY BIRTHDAY………」

………と。

転生という名の「転生」(後書き)

どうぞでしょうか？

素晴らしい駄作だったでしょう！！！

次回も見てくださいと嬉しいです(^^>

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9334z/>

転生ものだってよコノヤロオオオ！！

2011年12月29日03時56分発行